



TITLE:

不換紙幣流通ノ根據ニ就テ

AUTHOR(S):

戸田, 海市

CITATION:

戸田, 海市. 不換紙幣流通ノ根據ニ就テ. 經濟論叢 1916, 2(6): 1073-1081

ISSUE DATE:

1916-06

URL:

<https://doi.org/10.14989/127031>

RIGHT:

學大科法學大國帝都京

叢論濟經

號六第

卷二第

論說

●戰後ノ關稅團體ノ計畫

●生死減少逆行ノ法則

研究

●植民政策上ノ根本問題

●本多利明ノ經濟說(三、完)

雜錄

●不換紙幣流通ノ根據ニ就テ

●在外正貨ノ處分ニ就テ

●數トリ切手貼用法

●全米貨幣統一案

●獨逸^{ニ於ケル}工場衛生問題ノ研究

●經濟雜話(三)

●再ビ本多利明ノ著書ニ就テ

●歐洲戰爭ノ經濟的說明

●戰時戰後ノ佛國物價

●香港政廳卜對獨貿易

法學博士 戸田 海市

講 師 高田 保馬

法學博士 神戶 正雄

講 師 本庄榮治郎

法學博士 戸田 海市

法學博士 神戶 正雄

教 授 財部 靜治

助教授 河田 嗣郎

助教授 山本美越乃

法學博士 田島 錦治

講 師 本庄榮治郎

法學博士 河上 肇

法學博士 小川郷太郎

法學博士 佐藤丑次郎

雜 錄

不換紙幣流通ノ根據ニ就テ

法學博士 戸 田 海 市

本誌前々號ニ於テ作田教授ハ不換紙幣流通ノ根據ニ關スル有益ノ研究ヲ發表シ、其中ニ予輩力前ニ全紙ノ差ヲ論シタ際ニ本問題ニ付テ述ヘタ意見ニモ批評ヲ下シテ大ナル利益ヲ與ヘラレタコトヲ深ク感謝スル。當時予輩ハ紙幣ノ強制通用制度ニ關シテ何等ノ説明ヲ爲サスシテ單ニ斷定ヲ下タシタノデアツタガ、其旨ヒ現ハシ方方誤解ヲ生スヘキ不正確ナモノデアツタコトヲ氏ノ批評ニ由テ見出スコトヲ得タト同時ニ、紙幣ノ本質ニ關シテモ、又強制通用制度ナル詞ノ意義及此制度ノ精神ニ關シテモ、氏ノ說ハ頗ル卑見ト相違セルカ如ク考ヘラルノミナラス、其後本問題ニ付テ他ノ二三學友ト意見ヲ交換シタ場合ニモ稍類似セル意見ノ相違アルコトヲ發見シタ。依テ茲ニ收メテ本問題ニ關スル卑見ヲ述ヘテ教ヲ乞フコトトシタ。

兌換券タルト不換紙幣タルトヲ問ハス、實體價值ヲ有セサル物體カ貨幣トシテ世間ニ流通スルト云ヘハ、正貨ノ代リニ貨幣債務ノ辨濟ニ汎ク

使用セラルルコトヲ云フノテアルガ、何故ニ此種ノ物體カ此ノ如ク流通スルヤト云ヘハ、世人カ正貨支拂ノ必要ノ起リシ場合ニ此種ノ物體ヲ以テ其支拂ニ代用シ得ヘシト信スルコト、即チ此種ノ物體カ世間ノ流通信用ヲ有スルコトデアル。此外兌換券ヲ受取ル者ノ中ニハ稀ニハ之ヲ以テ正貨ヲ得ントスル者モアルガ、一般ニハ更ニ之ヲ支拂ニ使用スル目的ヲ以テ受取ルノテアル。次ニ然ラハ此種ノ物體カ如何ニシテ此ノ如キ流通信用ヲ有スルニ至リシヤト云フニ、兌換券ニ在テハ自由ニ之ヲ兌換シ得ルノ事實カ根本ノ原因トナツテ居ルガ、不換紙幣ノ場合ニハ或具體的ノ事實ヲ舉ケテ是レコソ一切ノ場合ヲ通シテ只一ノ又ハ根本ノ原因ナリト云フコトヲ得ナイ。紙幣ニ對スル世人ノ流通信用ハ種々ノ事實ニ由テ起ルノミナラス、同一ノ事實カ或場合ニハ流通信用ヲ生スルノ力アルモ、他ノ場合ニハ無効トナルコトモアル。紙幣カ永キ慣習ノ力ニ由テ流通シツツアル場合ニ、如何ナル事情カ此慣習ヲ存立セシムルニ至リシヤヲ明ニスルコ

トハ甚タ困難ナ場合モアルガ、一般ニ云ヘハ紙幣ヲ受取リテ更ニ之ヲ支拂ニ用ヒントスルニ方リ、假令ヘ其ノ凡テノ場合テナクトモ主ナル場合ニ於テハ、差支ナク之ヲ正貨ノ代リニ使用シ得ヘキコトヲ何人カニ由テ明示又ハ默示ニ保證セラレ、世人カ此保證ニ信用ヲ置クコト、即チ紙幣ヲ受取ツテモ此保證カアレハ之ヲ有効ニ使用スルノ機會ハ充分ニ存在シ、其用途ヲ失フテ無價ノ紙片ニ化スルカ如キ危險ハ絕對ニ又ハ殆ント起ルコトナカルヘシトノ安心ヲ生スルコトカ其根本ヲ爲シテ居ル

紙幣流通ニ關スル如上ノ保證カ有効ナルニハ固ヨリ其保證者ノ能力ト誠意トカ世人ヨリ認メラレネハナラス。併シ一紙片カ正貨ノ代リニ汎ク社會ニ流通スルコトハ單ニ少數者ノ保證ノ存在ヲ以テ足レリトシナイ。必ラスヤ同時ニ世人モ或程度ニ紙幣ノ存在ヲ希望シ、有力ノ保證アルヲ賴ンテ各自ニ之カ流通ヲ維持セントスルノ意思ノ存在スルコトヲ必要トスル、紙幣カ正貨ヨリモ取扱ニ便利ノ點アル事實カ、世人ヲシテ

其存在ヲ希望セシムル一原因トナツテ居ルコトヲ常トスルガ、既ニ成立セル紙幣ニ付テ云ヘハ、現存ノ紙幣カ流通力ヲ失フトキハ、世人ハ忽チ日常取引ヲ行フノ手段ニ大缺乏ヲ感シ、又之カ爲メ既ニ各自カ相當ニ多ク所有スル所ノ財産ノ消滅ヲ來タス結果トナル故、此等ノ不利不便ヲ防クカ爲メニ成ルヘク紙幣ノ流通ヲ維持セントスルノ意思ヲ有シテ居ル。凡テノ制度ト同シク紙幣ノ制度モ、之ヲ存在セシメントスル一般ノ民意カ其存在ノ基本ヲ爲スモノテアツテ、此民意ニ動搖ヲ生スルトキハ他ニ如何ナル方法ヲ試ミテモ之ヲ存續セシムルコトハ困難デアル。故ニ例ヘハ多數ノ銀行錢莊等カ競争的ニ兌換券ヲ發行セル社會ニ於テ、其中ノ重要ナラサル一二ノ發行者カ兌換ヲ停止シタ場合ニ、世人ハ其他ノ發行者ノ提供セル兌換券ニ由テ日常取引ヲ行フニ別段ノ不便ヲ感セサルヘキカ故ニ、必シモ兌換停止者ノ發行ニ係ハルモノヲ存在セシメントスルノ意思ハ強ク起ラス、從ツテ其流通力モ消滅スルコトヲ免レ難イテアラウ。只タ

紙幣ノ存在ニハ之ヲ希望スル一般民意ノアルコトヲ必要トスルト云フコトハ、正貨兌換券ノ存在ニ付テモ等シク云ヒ得ル所デアツテ、此外特ニ紙幣ノ存在ニ必要トスル事柄ハ前述ノ如キ有力ナル流通保證ノ存在スルコトデアル

二

紙幣ノ流通保證ヲ爲ス有效ノ方法ハ汎ク世人ト多額ノ貨幣取引ヲ爲ス地位ニ在ル者カ自己ノ取引ニ付テ紙幣ヲ受取ルコトヲ世人ニ知ラシムルカ、又ハ國家カ世間ノ貨幣取引ノ重要ノ場合ニ於テ紙幣ノ使用ヲ生スルカ如キ命令ヲ下タスコト、即チ紙幣ニ強制通力制度ヲ設ケルコトノ何レカナクテハナラヌ。先ツ第一ノ保證ニ付テ見ルニ此種ノ保證ハ紙幣ヲ受取ツタ者ニ對シテ之ヲ有效ニ使用スル充分ノ機會ヲ與ヘルト云フ實質的ノ效果ヲ生スルノミナラス、最モ多ク紙幣ヲ受取ル地位ニ在ル者カ率先之ヲ受取ツテ其前途ニ關シ更ニ疑念ヲ懷カサルカ如キ態度ヲ示スコトカ世人ニ安心ヲ吹キ込ムト云フ強キ暗示力ヲ有スル故、紙幣ノ流通保證トシテハ頗フ

有力デアアル。此種ノ保證ヲ爲シ得ル者ハ汎ク世人ト貨幣取引ヲ爲スノ地位ニ在ル政府ナルコトヲ常トスルガ、併シ政府以外ノ者ノ保證ハ絶對ニ無効デアルトハ云ハレナイ。例ヘハ政府又ハ私人ノ發行ニ係ハル兌換券カ兌換停止ノ運命ニ陷リシ際、汎ク世人ト取引ヲ爲ス所ノ主要ノ商店金融業者等カ一致シテ、自己ノ取引ニ付キ之ヲ正貨ノ代リニ受取ルコトヲ保證シタナラハ、其保證カ有效トナル場合ヲ生スルコトハ想像シ得ル。從來支那ノ諸地方ニ於テ發行セラルル紙幣ニ付キ、時トシテハ之ニ類スル保證ニ由テ其流通力維持セラレタ場合カアツタヤウデア。勿論此種ノ保證ハ實際ニハ狹キ區域ニ流通スル紙幣ニ付テ行ハレ得ルコトデアリ、又其保證ハ通例一時的ノ成立ヲ有スルニ過キナイデア。何トナレハ廣キ區域ニ亘ツテ多數ノ商店金融業者等カ此ノ如キ保證ニ付キ一致スルコトハ望ミ難ク、又狹キ地方ノ内ニ在テモ、此ノ如キ保證ヲ永續スルコトハ困難デアルノミナラス、多クノ場合ニ於テ此等ノ者カ其保證ヲ爲ス

ハ、紙幣發行者ノ財産整理ニ由リ久シカラスシテ紙幣ヲ回收スルカ又ハ兌換ヲ恢復シ得ル見込アル場合ニ於テ、紙幣流通不能ヨリ保護者自身ノ蒙ムル損失ヲ防ク爲メノ應急策トシテ之ヲ行フカラテアル。只タ理論上此種ノ保證カ永續シテ行ハルル場合ノアリ得ヘキコトヲ否認スルヲ得ナイ

更ニ世間一般ト貨幣取引ヲ爲スノ機會ヲ多ク有スル所ノ政府カ自己ノ取引ニ付テ紙幣ヲ受取ルコトヲ公ケニ定メルノ方法モ第一種ノ保證ニ屬スル。此場合ニハ其紙幣發行者カ政府タルヤ私人タルヤノ事實ハ必シモ其保證ノ效力ヲ直接ニ左右スルモノテハナイ。其ノ效力ヲ生スル主要原因ハ世人一般カ國庫ニ對シテ少ナカラサル貨幣支拂ノ義務ヲ有スル故、國庫カ此支拂ニ付テ紙幣ヲ受取ルコトヲ保證スレハ、世人ハ紙幣ヲ所有シテモ無用ノ紙片トナルノ危險カ多ク起ラナイト信スルカラテアル。此保證ノ效力ヲ生スル主要原因カ此ノ如クテアリトスレハ、紙幣ノ發行高カ國庫收入ニ比シテ不權衡ニ多額ニ上ル

トキハ、其流通信用カ危險ニ陷ラサルヲ得ナイ。國庫モ一方ニ世人ヨリ貨幣ヲ受取ツテ他方ニハ可ナリ速カニ之ヲ支出シ、即チ之ヲ世人ニ返付スル、故ニ國庫ノ日常ノ收支ヲ行フニ要スル貨幣ノ量ハ歲入總額ニ比スレハ僅小テアリ、又之ヲ民間ノ一般取引ニ比スレハ更ニ遙カニ僅小テアル。特ニ紙幣ノ増發カ行ハレテ物價カ騰貴スルモ、國庫ノ取引ノ一大部分ハ金額カ一定セル故、其取引ノ爲メノ紙幣ノ需用ハ其發行高ノ増加ニ伴フテ増加シナイ。此等ノ點ヨリ見レハ國庫取引上ノ保證ノ效力ハ必シモ重大視スルヲ得ナイ。假令ヘ紙幣カ國庫取引ニ於テ通用スルモ、民間ノ重要ナル商店金融業者等カ何等カノ原因ヨリ之カ受取ヲ忌避スルトキハ紙幣ノ流通ハ忽チ危險ニ陷ルテアラウ。例ヘハ南洋ノ諸地方ニ於ケル商業ノ實權ハ支那人ノ手ニ在ルガ若シ有力ノ支那商人カ地方政府ノ支那人虐待ニ報復スル爲メ政府紙幣ニ對シテばいこつとスルカ如キコトカアレハ、紙幣ノ流通ハ困難トナルテアラウ。只茲ニ注意スヘキハ紙幣就中私人發

行ノ紙幣ニ付キ政府カ卒先之ヲ國庫取引ニ於テ受取ルノ態度ヲ示スコトハ、紙幣ノ安全ニ關シ世人ニ大ナル暗示ヲ爲スノ力カアル。從ツテ國庫取引上ノ保證ノ效力ハ必シモ其取引ノ大サヨリ之ヲ判斷スルヲ得ナイ

紙幣發行者ノ政府タルト私人タルトヲ問ハス、發行者カ自己ノ取引ニ於テ之カ受領ヲ拒ムコトハ其發行ノ精神ニ矛盾スル。是レ獨リ其發行者ハ政府又ハ大金融業ノ如ク世人一般ト多クノ貨幣取引ヲ爲ス地位ニ立ツ者ヲアル故、自己ノ取引ニ於テ之カ流通ヲ拒ムトキハ、紙幣ヲ受取リシ世人ヲシテ之ヲ有效ニ使用スルノ機會ヲ失ハシムルコト多キニ止マラス、發行者カ世人ヲシテ紙幣ノ存在ヲ認メシメントシツツ自身ニハ之カ存在ヲ否認シ、以テ其流通信用ヲ破壞スルコトトナルカラテアル。發行者カ自己ノ取引ニ於テ之ヲ受領スルト云フ同シ事實ヲ重要視スルニ付テモ、紙幣ノ本質ニ關シテ別ノ見解ヲ探ルトキハ、此事實ヲ重要視スルノ意義カ異ツテ來ル。作田教授ノ如ク紙幣ノ發行ヲ以テ其發行者カ世

人ニ一種ノ借用證ヲ交付スルモノト見ルトキハ、發行者カ自己ノ貨幣取引ニ於テ之ヲ受領スルコトハ即チ相殺ノ方法ニ由ル債務ノ辨濟テアリ消滅的ノ兌換テアル。債務者カ債務ノ辨濟ヲ行フコトハ其借用證ヲ成立セシムルニ必要テアル。故ニ紙幣發行者カ自己ノ取引ニ於テ之ヲ受領スルコトヲ以テ紙幣成立ノ出發點トセネハナラス。勿論之ヲ受領スルニ付テハ絕對ニ例外ヲ設クルヲ得ナイトハ云ハレナイ、又之ヲ受領スルノ一事ニ由テ直チニ紙幣カ流通信用ヲ生スルコトヲ必シナイガ、兎ニ角此事ハ紙幣發行ノ經過ニ於テ發行者ノ第一着ニ決スヘキ方法テアリ、更ニ第二段ニ於テ政府カ紙幣ヲ發行スル場合ナラハ、此事カ債務辨濟ノ意義ヲ有スルト否トヲ問ハス、一面ニ紙幣ヲ受取リシ者ヲシテ有效ニ之ヲ使用スルノ機會ヲ多ク得セシムルト云フ流通保證トナルガ、世人一般ト貨幣取引ヲ行フコトノ更ニ少ナキ私人ノ發行ノ場合ニハ、別ニ重要ノ貨幣取引ヲ爲ス者就中政府カ之ヲ自己ノ取引ニ受領スルト云フ流通保證ヲ與ヘ、以テ

其成立ヲ完成セシメネハナラヌ。紙幣ヲ以テ一ノ借用證文ナリトスルナラハ、其發行者カ何等カノ方法ニ於テ債務ノ辨濟ヲ決定スルコトカ、其成立ヲ完成スルニ足ルヤ否ヤハ別トシ、之ヲ以テ其成立行爲ノ第一歩トセネハナラヌ。此事ハ債務ノ觀念ヨリ生スル當然ノ結果デアリ、從ツテ此事タル見方ニ由テハ發行者ノ紙幣提供ニ對シテ世人カ之ヲ承認スルト云フ紙幣ノ客觀的成立ニ對シテハ必然ノ豫備條件ト云フコトモ出來ル。辨濟セサル債務ト云フコトハ矛盾テアルガ、何等カノ辨濟ノ方法カ存スルトキハ債務タルヲ妨ケナイ。故ニ當分ノ間ハ積極的ノ兌換タルト相殺ニ由ル消極的ノ兌換タルト問ハス一切ノ辨濟ヲ行ハサルモ、發行者ノ財產狀態カ改善スルトキハ或方法ニテ辨濟ヲ行フト定ムルコトハ、理論上債務タル紙幣ノ觀念ニハ反シナイガ、事實上相殺ニ由ル辨濟ヲ一般的ニ拒ムコトハ紙幣ノ流通信用ヲ破壞スル。故ニ政府紙幣ノ場合ニ於テ輸入税ノ納入ニ付キ之ヲ拒絕スルカ如キ例外ハアルモ、一般ニハ此種ノ辨濟ヲ認ム

ルコトカ必要トナル。然ルニ若シ紙幣ヲ以テ必シモ借用證文ノ意義ヲ有スルモノニ限ラス、其他ノモノヲ包括シタル觀念トスルナラハ、社會的ノ流通保證ヲ以テ其成立ノ基本ト見ネハナラヌ

紙幣ハ借用證文タルモノニ限ラルヘキヤ否ヤハ甚タ微妙ナ問題テアル。國民思想ノ個人中心のタルヤ社會中心のタルヤニ由テ、此問題ニ關スル見解カ幾分異ルテアラウガ、更ニ此國民思想ト或程度ニ聯絡ヲ有スト考ヘラルル所ノ紙幣制度ノ運命ニ關スル思想ノ相違ニ由テ其見解ニ差ヲ生スル。即チ紙幣ヲ以テ兌換券ノ兌換停止ニ由リ劣惡化シタル一時的變體トシ、久シカラスシテ兌換恢復ノ運命ヲ有スルモノト認メ、從ツテ單ニ正貨ノ代リニ通用スルコトニ由リ消極的ニ正貨ヲ代表スルト云フコトヨリモ、更ニ一層正貨ト密接ノ關係ヲ有スルモノト認ムルヤ、又ハ之ヲ以テ辨濟償却ニ由リ終了ヲ豫想スルコトヲ要スル債務タルヲ必要トセス、永久ノ制度トシテモ成立シ得ルモノト認ムルヤノ相違ヨリ

シテ、紙幣ノ本質ニ關スル思想ヲ異ニスル。歷史上ノ事實トシテハ通例紙幣ノ存在ハ兌換券ノ墮落ニ由ル一時ノ變態ヲアルカ、予輩ハ紙幣ノ範圍ヲ此ノ如キモノニ局限セス、更ニ進ンテ紙幣ハ理論上補助貨幣ト同様ニ永久ノ制度トシテモ或範圍ニ成立シ得ヘキモノト認メ、之ヲモ紙幣ノ觀念ニ包括セシメントスル者ヲアル。故ニ其流通信用ノ發生ノ根據ヲ發行者ノ債務辨濟ノ期待ニ置カス、社會的勢力ノ代表者就中政府カ之ニ對シテ流通保證ヲ爲スコトヲ以テ其成立ノ基本ト認メルノテアル

三

次ニ第二種ノ流通保證即チ國家カ紙幣ニ強制通用力ヲ附スルノ制度ヲ研究スルニ付テハ、先ツ強制通用制度ナル詞ノ意義カラ考ヘネハナラス。一口ニ正貨ト云フモ其存在ハ多量テアツテ其個々體ノ額面ノ金高モ、鑄造年次ノ刻印其他ノ外形モ同シカラサルノミナラス、同シ外形ノモノニ在テモ最輕通用量目ト云フカ如キ範圍内ニ於テ目方ノ輕重モアル。併シ特定貨幣ノ保護

預リノ如キ場合ヲ除キ、一般ノ貨幣債務ハ不特定ナル貨幣ノ一定金額ノ辨濟ヲ目的トスルモノテアル。故ニ債務者カ多量ニ存在スル貨幣ノ中ヨリ任意ノモノヲ債務額ニ相當スル丈ケ撰ンテ之ヲ支拂ヘハ有效ノ辨濟トナリ、債權者ハ之ニ異議ヲ唱ヘルコトハ出來ナイ。此ノ如キハ債權ノ當然ノ效果デアツテ特ニ貨幣ニ附セラルル強制通用力ノ效果ト云フヲ得ナイカ、茲ニ云フ流通保證トシテノ強制通用力テナイコトハ勿論テアル。又國家カ或物體ヲ法貨ト認ムルコトト、茲ニ云フ所ノ強制通用力ノ附與トハ必スシモ同義テナイ。例ヘハ貨幣債務者カ正貨ヲ以テ辨濟シタ場合ニ債權者カ其受領ヲ拒ミ、更ニ兌換券又ハ紙幣ヲ以テ辨濟スヘキコトヲ請求スルトキハ、債務者ハ民法第四百二條ノ規定ニ由テ正貨ノ受領ヲ請求スルノ權利カアル。此場合ニハ正貨カ一種ノ強制通用力ヲ有スト云ハレナイテハナイカ、予輩カ紙幣ノ流通保證トシテノ強制通用力ト稱スルモノト同一テナイ。此流通保証ノ意義ニ於ケル強制通用制度ハ特ニ實體價值ナキ

紙幣ノ如キモノニ對シテ適用セラレルモノテアツテ正貨ニハ固ヨリ適用カナク、又此制度ニ於ケル強制ノ程度方法等ノ内容ニ付イテ見テモ、或物體ヲ法貨ト認ムル場合ノ如ク單ニ之ニ對シテ他種ノ貨幣ト同様ノ辨濟力ヲ附スルニ止マラス、更ニ進ンテ強制ノ程度方法等ニ付キ特別ノ規定ヲ設ケル場合モアル

流通保證トシテノ強制通用制度ヲ紙幣ニ對シテ合理的ニ行ハントスレハ、其發行者カ政府タルト私人タルヲ問ハス、必ラスヤ同時ニ國家自身モ其債權ノ行使ニ方ツテ之ヲ受領スルゴトヲ認メネハナラス。成ルホド形式ノ上ヨリ云ヘハ人民相互ノ間ノ取引ニ付テ紙幣ノ使用ヲ強制スルコトト、國庫カ其取引ニ於テ之ヲ受領スルコトトハ別物ヲアルト云ヒ得ルヲアユウガ、併シ國家カ紙幣ノ存在ヲ希望シテ之ニ強制通用力ヲ附シ、以テ之ニ世間ノ流通信用ヲ生セシメントスルノ制度ヲ行ヒツツ、一面ニ國家自身ノ取引ニ於テ之カ存在ヲ認メナイコトトシ、以テ其流通信用ヲ破壞スルコトハ矛盾ノ行爲トナルカラテ

アル。但シ國家カ特定ノ目的ノ爲メニ一般人民トノ取引ノ場合テナクテ特種ノ少數者トノ取引ノ場合ニ之カ受領ヲ拒ムコトハ、必シモ世人ノ流通信用ヲ破壞スル矛盾ノ行爲トハナラナイ。例ヘハ下落セル紙幣ノ流通セル國ニ於テ強制通用制度ヲ行ヒツツ一方ニ歳入増加又ハ國內產業保護ノ爲メノ輸入税増加ヲ行フ目的ヨリ、此税ニ限り正貨ヲ以テ納入スヘキコトヲ命スルカ如キ是レテアル

如上ノ意義ニ於ケル強制通用制度ニハ其強制ノ程度方法等ニ付テ種々ノ區別ハアルガ、之ヲ他ノ流通保證ニ比スレハ最モ有力ナモノテアル。何トナレハ之ヲ合理的ニ行ヘハ正貨ニ代ヘテ紙幣ヲ使用シ得ル機會ヲ最モ多クシ、從ツテ其流通信用ヲ最モ強クスルカラテアル。固ヨリ凡テノ紙幣ハ此種ノ最強ノ保證制度カナクテハ流通シナイトハ云ハレナイ、更ニ低度ノ保證ヲ以テ足ルコトモアルト同時ニ、此制度ヲ行フモ尙ホ前ニ述ヘタ所ノ他ノ一般の條件ヲ缺クトキ、特ニ保證者タル政府カ威信ヲ失墜シ、又ハ紙幣ヲ

存在セシメントスル一般ノ民意カ消失スルトキハ、紙幣ハ流通力ヲ失ハサルヲ得ナイ。只タ政府ノ行ヒ得ル制度トシテハ之レ以上ニ根本的ノモノヲ見出スヲ得ナイノテアル。此制度タルヤ國家カ苟クモ紙幣ヲ存續セシメントスルノ意思ヲ有スル限り、他ノ流通保證ノ效力ノ不充分ナルコトヲ發見スルニ於テハ、結局實行セサルヘカラサルモノテアル。是レ尙ホ兌換券ノ流通信用ヲ得ルカ爲メニハ隨時隨所ニ理想的ノ兌換ヲ行フノ制度ヲ立テルコトヲ以テ根本又ハ最高ノ方法トスルガ、而モ尙ホ發行者カ世人ニ對シテ充分ノ威信ヲ有セサルカ、又ハ世人カ本來兌換券ノ使用ヲ好マサルトキハ、兌換券カ流通スルヲ得サルト同時ニ、今日普通ニ見ルカ如ク兌換ノ場所ヤ時日ヲ或程度ニ制限シ、又ハ兌換請求者ニ對シテ道德的威壓ヲ加フルニ止マラス、公然兌換手数料ヲ徵收スルカ如キ兌換ノ制限ヲ行ヒ、之ヲシテ相對的ノ不換紙幣タルカ如キ觀ヲ呈セシムルモ、尙ホ能ク兌換券トシテ流通スルコトアルト異ナラス。予輩カ紙幣ノ流通ニ付テ

強制通用制度ヲ重要視スルハ此ノ如キ意義ニ於テアル。實際ニハ兌換券ニシテ相對的ノ不換紙幣タルノ觀ヲ呈スルコト多キト同時ニ、不換紙幣ニシテ相對的兌換券タルノ觀ヲ呈スルコトモアル。此場合ニ其性質カ兩者ノ何レニ屬スルカヲ定メルコトハ困難テアルガ、所詮ハ其通貨ヲ存立セシムル爲メニ探ルヘキ最後ノ又ハ最高ノ手段ノ何レナルヤニ由テ區別スルノ外ハナイ